

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	23	利用者様が重度化して、ご自分で意思表示が難しくなっても、「その人らしい生活」ができるよう、個々についてのより細かい情報収集に取り組み、事業所の理念にも沿ってアセスメント等を工夫する。	アセスメントの内容を充実させ、利用者様についてより深く理解し、ケアプランの適正化に努め、理念に沿った支援をする。	アセスメントシートの内容について検討・改善することによって、深く利用者様を理解できるように定期的に検討して職員全員が新しい情報を把握できるようにする。またアセスメントシートを活用し担当者会議等で理念に沿った具体的な介護計画を立てる。	12 か月	新しいアセスメントシートを検討・改善し利用者様のアセスメントを開始している。
2	26	利用者様一人ひとり、「どのように暮らしたいか」という意向をもとに、利用者様の持っている力や社会性、地域資源等も活かして、利用者様がいろいろな人とかわりながら暮らし続けられるよう、支援内容等を工夫する。	利用者様が持つ力や社会性の状況把握に努めるとともに、地域資源をしっかりと把握しいろいろな人や地域とかわりながら豊かな生活できるよう支援する。	利用者様の持つ力や社会性、地域資源をアセスメントしていき、かつ職員や地域の方達からも地域の情報を提供してもらい、地域資源の発掘に努め、利用者様がいろいろな人や地域とかわり、多様な体験ができるよう支援する。	12 か月	利用者様のアセスメントを開始し、職員や地域の方達からも情報収集を行っている。また利用者様の生活を見直し地域資源を活用出来る場面を作っている。
3	40	利用者様の状態のこともあり、利用者様のできることが減っているが、個々ができること、できそうなこと等をより細かくアセスメントして、利用者様が主体の生活を職員で支えていく。	一人一人が生き生きと楽しい生活が送れるよう利用者様ができる事を見つけて支援する。	利用者様ができる事やできそうな事を担当者会議等でケアプランに盛り込み、それが継続できるよう支援する。	12 か月	担当者会議等で話し合い、一人一人に応じた活動を検討している。
4	49	利用者様の希望に沿った支援に努めているが、気持ちの浮き沈みがよくある利用者様は外出が少ない。そこで「出掛けてみたい」と思えるように場面作りを工夫したり、利用者様個々の懐かしい場所や思いでの場所等にも出掛けてみるような機会を作る。	利用者様の思いを理解できるよう心がけ、心理的サポートに努めて外出の機会を作る。	利用者様の思いを理解できるよう寄り添ったケアを心がけ、心理的なアセスメントも行っていく事で支援内容を明らかにし適切な外出支援を家族様も含めて検討し楽しんでいただく。	6 か月	現在外出行事も積極的に実践している。場所や内容など多様に提供し、利用者様が行きたい所に外出できるよう支援している。家族様同伴を働きかけ好評である。
					か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
			⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
			⑤その他()